

西暦 2025年09月11日作成

研究に関する情報公開について

下記の研究は、福岡大学人を対象とする研究倫理審査委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。
インフォームド・コンセントを受けない場合において、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第4章 第8.1に基づき、以下の通り情報公開いたします。

研究課題名	人体等価ファントムを用いた股関節手術における総合的な患者被ばく線量の推定
研究期間	病院長の許可日 ～ 西暦 2026年03月31日
研究責任者	放射線診断部 医療技術職員 古賀 絵莉子
試料・情報の収集期間	<input type="checkbox"/> ：新たな情報を取得する場合 病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日 <input checked="" type="checkbox"/> ：既存試料・情報を利用する場合 ■後向き期間：西暦 2022年04月01日 ～ 病院長の許可日 □前向き期間：病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日
研究対象者	当院整形外科で股関節手術(人工股関節置換術・寛骨臼回転骨切り術)を受けた方
研究の意義と目的	<p>多くの手術では、術前・術中・術後の段階を通して様々な放射線検査を行います。それぞれの検査に対する患者被ばく線量の報告は多く存在していますが、一連の検査を通した総合的な線量評価の報告例は少ないです。</p> <p>放射線の防護量として「実効線量」が挙げられます。実効線量は異なる撮影技術における線量の比較や、日常における自然放射線との比較が可能です。また、実効線量は加算性を有するため複数の検査の被ばく線量を総合的に評価することができます。</p> <p>そこで患者さんの累積被ばく線量を把握することを目的として、実効線量を用いて術前から術後を通した一連の検査の被ばく線量の推定を行います。今回は、生殖腺を含む骨盤腔の放射線検査に着目し、人工股関節置換術の手術前後のルーチン検査について推定を行います。</p> <p>実効線量での被ばく線量を推定することで、標準体型における患者さんの総合的な被ばく線量の推定が可能となり、一連の検査を通して確率的影響(癌や遺伝的影響)の有無を確認できます。また、実効線量を測定する過程で得られる各臓器の線量の把握により、一連の検査を通して組織反応(脱毛や不妊など)の有無を確認できます。</p> <p>注意点としては、今回推定する被ばく線量は患者さん個人の被ばく線量ではなく、標準的な体型の方の標準的な被ばく線量の推定値ある点を留意する必要があります。</p>
研究の方法	<p>人体と等価物質で構成されたファントムに対して、手術の前後で行われる検査(X線撮影、ポータブルX線撮影、手術室内での術中透視検査、CT検査)について臨床と同様の撮影を行い、被ばく線量を推定します。各検査の実効線量や臓器線量を加算することで、一連の検査における総合的な線量の評価を行います。</p> <p>手術中に行われる術中透視検査は、透視時間によって被ばく線量が変わります。研究は人体と同等の物質で作られたファントムを使用していますが、術中透視検査の被ばく線量を推定するためには実際に手術室内で行われた透視時間を用いる必要があります。そのため、当院で股関節手術を受けた患者さんの術中透視時間を取得し、本研究で使用します。</p>
研究に用いる試料・情報	診療録、人体等価ファントムより収集した線量データ
試料・情報の提供先	■無

	<input type="checkbox"/> 有
試料・情報の提供元	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
情報管理責任者又は名称	放射線診断部 医療技術職員 古賀 絵莉子
研究のための試料・情報を利用する者	本学：人を対象とする研究倫理審査委員会で承認され病院長から許可された研究者
個人情報の保護	収集した情報は、匿名化（どのデータが誰のものか分からなくすること）した上で本研究に利用します。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
研究協力の任意性と撤回の自由	この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究に参加を希望されない方（患者さん自身がすでに亡くなられている場合にはそのご家族）は下記の問い合わせ先へご連絡ください。患者さんの情報を本研究に利用しません。ただし、ご連絡を頂いた時点で、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、情報を削除できないことがあります。不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡ください。この研究への情報の利用を断っても、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。
試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について	患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。情報の利用または提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。
問い合わせ先	所属：放射線部 担当者名：古賀絵莉子 電話番号：092-801-1011 対応可能日及び時間：平日の13時～17時